

テーマ	マテリアリティ	アマノグループが目指すもの	2024年度に取り組むこと
1 地球環境にやさしく	①環境保護／ 環境負荷低減	・CO2排出量削減・有害化学物質使用量削減に資する製品の開発・製造・販売 ・製品のユーザー使用時・製造過程双方におけるエネルギー効率向上・廃棄物削減	【開発・製造部門】 ・エネルギー使用量：エネルギー原単位で年1%削減（本社・相模原事業所/細江事業所） ・水使用量：年1%削減（本社・相模原事業所/細江事業所） ・廃棄物総排出量原単位：年1%削減（本社・相模原事業所/細江事業所） 一般廃棄物含む再資源化率100%（相模原事業所） 塗料の適正量購入による塗料廃棄量年5%削減（細江事業所） 【クリーンシステム事業】 ・電解水ユニット標準搭載モデル開発（ロボット・洗浄機） ※電解水ユニット ⇒ https://www.amano.co.jp/Clean/egseries.html 【環境システム事業】 ・省エネ対応新製品開発 ※インバーター機能搭載により風量を可変（使用時の電力量削減）
	②気候変動対応／ 脱炭素社会実現への貢献	・CO2排出量削減に関する取組み／TCFD開示	【全社】 ・CO ₂ 排出量削減：年1%削減 ・TCFD開示：国内グループ会社へ適用拡大
2 人にやさしく	①ダイバーシティ推進／ 人権尊重 ②多様な働き方への対応	・ダイバーシティとインクルージョンの推進 ・女性差別の解消/人権保護（性別・国籍・障がいなどに基づく差別の禁止）	【全社】 ・多様な人材の登用 新卒採用（大卒）：2025年4月採用計画に対し100%達成 海外IT人材活用：開発部門にて従事継続 ・中長期的な変化への対応力強化 ダイバーシティ推進研修（e-learning）受講率目標：95%以上 ・多様性を活かす職場づくり ウェルビーイング経営：健康診断受診率 2025年3月期目標：100% ・女性雇用比率（2024年3月：16.9% → 2026年3月目標：20.0%） ・女性管理職比率（2024年3月：2.7% → 2026年3月目標：5.0%） ・女性社員に占める管理職比率（2024年3月：3.6% → 2026年3月目標：10.0%） ・男性育児休暇取得率（2024年3月：40.0% → 2026年3月目標：50.0%）
	②多様な働き方への対応	・多様化する働き方に対して製品・ソリューションの提供による、法令遵守・健康被害防止並びに業務効率化の実現	【情報システム事業】 ・新就業ソフトウェア開発：開発投資額 10億円超（働き方・働くロケーションの多様化に対して、セキュリティ強化・マルチデバイス対応） ※就業（勤怠管理）ソフトウェア ⇒ https://www.tis.amano.co.jp/product/line-up/kintai/
3 安心・安全の提供	①安心・安全な製品とサービスの提供	・お客さまが安心して使用出来る高品質な製品・サービスの開発	【開発・製造部門】 ・安全性・品質向上：開発初期段階から開発・製造が連携しフロントローディング強化
	②新しい技術への対応／ イノベーション	・ソフトウェア・クラウド・IoT・AI・ロボット ビジネスの強化（利便性向上/新技術や多様化する運用への対応/お客様の状況把握による適切なサポート/ストックビジネス拡大による収益性向上）	【情報システム事業】 ・アライアンス拡大（就業管理の周辺サービス等） 【パーキングシステム事業】 ・ETCGO契約事業地拡大 ※ETCGO ⇒ https://www.amano.co.jp/etcgo/ ・キャッシュレス事業地拡大 ・ストックビジネス強化・拡充（新規ソリューション提供：ETCGO・ミライロID等） ※ミライロID ⇒ https://www.ams-amano.co.jp/parking/ams/ 【クリーンシステム事業】 ・クラウドサービス拡大 ・清掃ロボット販売拡大 ※清掃ロボット・クラウドサービス ⇒ https://www.amano.co.jp/hapiibot/ 【開発・製造部門】 ・クラウド対応サービス拡充（パーキング：定期契約Web申請・スマホ精算の開発、クリーン：ロボット連携クラウドシステム機能強化）
4 責任ある企業行動	①コーポレートガバナンス強化／ コンプライアンス	・強制労働・過重労働・不当労働の撲滅	【調達部門】 ・人権に関する取組状況調査実施：90社（2025年度末迄にアマノ単体の国内取引金額の約80%を網羅） 【全社】 ・人権研修実施（役員向け・従業員向け）
		・汚職・贈賄の未然防止	【全社】 ・ステークホルダー向け外部通報窓口設置 ・従業員向け内部通報制度・ステークホルダー向け外部通報窓口運営強化
	②リスクマネジメント／ 災害対策強化	・災害対策の強化	【全社】 ・各サイトにおけるBCP案策定 ・各種訓練実施（地震・火災発生時における消火・避難訓練、安否確認訓練等）：1回以上 ・災害時必要物資手配継続 【システム部門】 ・IT-BCP訓練実施：1回
		・サイバーセキュリティ対策の強化	【システム部門】 ・重大インシデント発生：0件 ・情報セキュリティー研修実施（e-learning）：2回、受講率100% ・不審メール対応訓練実施：2回